

令和5年度

たけのこ学級要覧



調布市立染地小学校

所在地： 東京都調布市染地3丁目1番地81号

T E L : 042-485-1285 (学校)
042-485-1360 (学級専用)

アクセス： 京王線調布駅南口より「多摩川住宅」行きバス
「公園前」下車 徒歩2分(約200m)

《たけのこ学級概要》

開 設 昭和57年4月1日

学級数 4学級

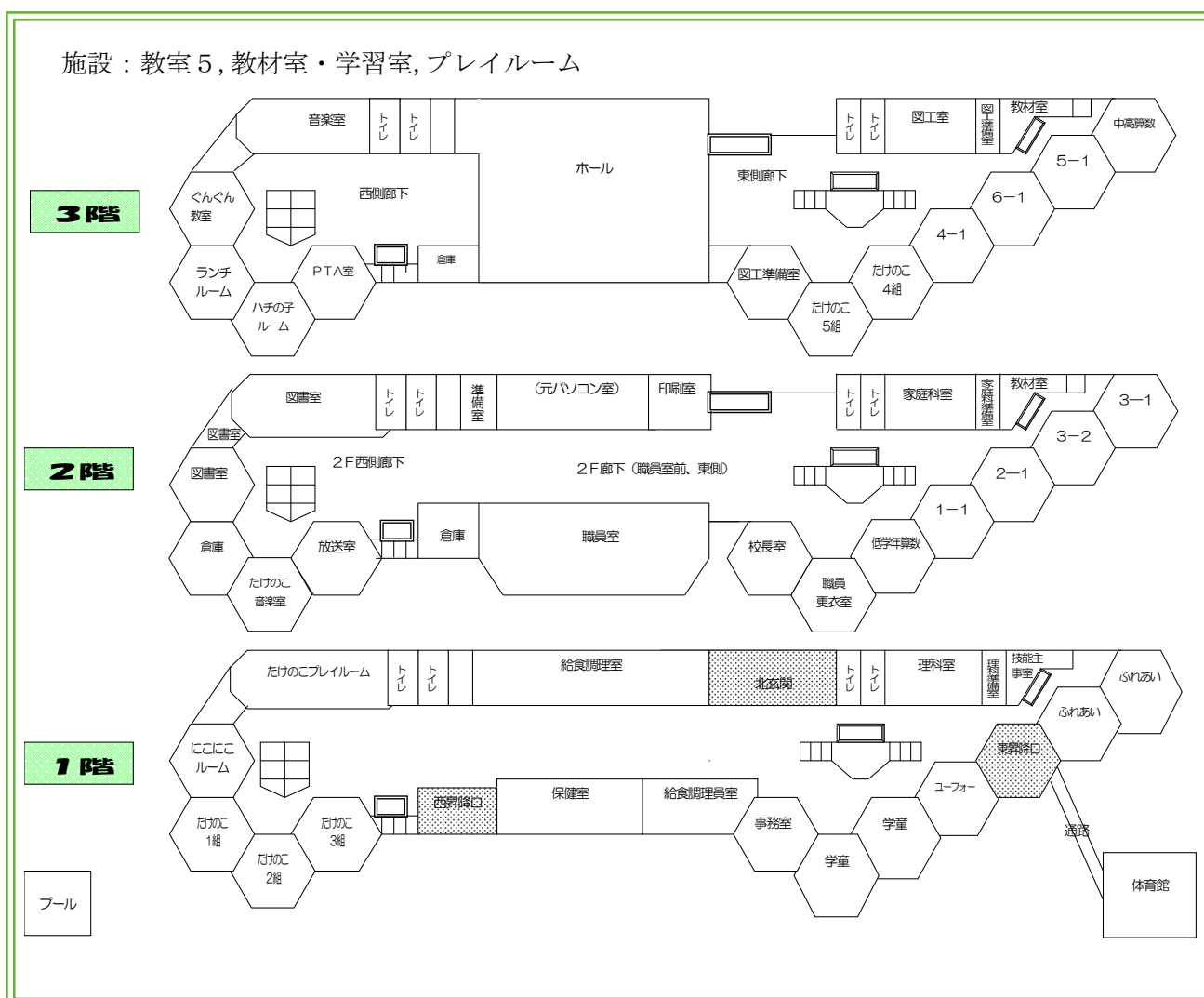
児童数 (令和5年4月14日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男子	1	4	5	2	1	8	21名
女子	1	1	1	2	1	3	9名
計	2	5	6	4	2	11	30名

教員数：5名 特別支援教育支援員：5名

講師時間数：国語・・・5時間 音楽・・・低学年2時間

■校舎平面図



■たけのこ学級の主な行事 (令和5年度 4月現在)

4月 入学式 1年生を迎える会	12月 合同学習発表会
5月 校外学習①	1月 連合図工展
6月 移動教室 (6年)	2月 6年生を送る会
	3月 お別れ会 卒業式
9月 運動会	
10月 移動教室 (5年)	
11月 校外学習②	

■たけのこ学級週時程表 (例・・・1年生時間割)

		月	火	水	木	金
朝夕タイム	8:25-8:35	立腰タイム	児童朝会	※特別時程	児童集会 交流集会	朝読書
1	8:40-9:25	日常生活 学級活動	日常生活 国語・算数	日常生活 国語・算数	日常生活 国語・算数	日常生活 国語・算数
2	9:30-10:15	体育 (体育館)	体育 (校庭)	生活単元	算数	音楽
中休み	10:15-10:35					
3	10:40-11:25	国語	国語	図書	図工	体育 (体育館)
4	11:30-12:15	算数	算数	音楽	図工	算数
	12:15-13:00	給食				
	13:00-13:15	昼休み				
	13:15-13:35		清掃		清掃※ロング昼休み	清掃
5	13:40-14:25	13:20-14:05 学活	生活単元	13:20-14:05 道徳	生活単元	国語
6	14:30-15:15					

※月・水曜日は、給食終了後清掃なしで5時間目を行います。

※水曜日は、特別時程で行います。

※3年生以上は、6時間授業があります。

※月1回程度、木曜日にロング昼休みがあります。(清掃なし)

《染地小学校の教育目標》

「子ども一人一人が大切にされていることを実感できる」教育を基盤にし、やり遂げたという達成感を重ねることを通して「なりたい自分」を目指せる児童を育成するために次の目標を設定する。

- あたたかく（徳）自分も人も大事にする子ども
- たくましく（体）目標に向かって、くじけずに行動する子ども
- まえむきに（知）主体的に学ぶ子ども【重点目標】

《染地小学校の教育目標》

生活や学習に必要な資質・能力を人との関わりの中で育み、将来の社会的な自立に向けて次の目標を設定する。

- 「あたたかく」 まわりの人と楽しく関わることのできる子ども
集団の一員としての自覚を育てながら、一緒に仲良く学習し生活することができる子どもを育成する。
自分の気持ちや考えを言葉や動作で伝える能力と素直に伝えようとする資質をもつ子どもを育成する。
- 「たくましく」 自分のやりたい目標に向かってくじけずに行動する子ども
目標に向かって考え、行動しようとする資質・能力をもつ子どもを育成する。
生活リズムを整えるとともに、体を動かすことを楽しめる心身ともに健康な子どもを育成する。
- 「まえむきに」自分で考えようとする子ども
生活や学習場面で、自分で考えたり友達と考え合ったりして、物事に対処する資質・能力をもった子どもを育成する。

《たけのこ学級の教育目標を達成するための基本方針》

- ア まわりの人と楽しく関わることのできる子どもを育成するために
 - ① 児童一人一人が活躍する場所をつくり、児童に基礎的な学力を身に付けるとともに、心の教育の充実、及び集団への適応力を高める取組を推進する。
 - ② 通常の学級の児童との「交流及び共同学習」を大切にし、活動を通して相互理解に努め、児童の学校評価において肯定的評価97%を維持する。
- イ 自分のやりたい目標に向かってくじけずに行動する子どもを育成するために
 - ① 教師や友達との共感・信頼関係を育て、地域・保護者・児童の願いに基づいた開かれた学校・学級づくりに努める。成長段階に沿った目標設定ができるような場面を多く設定し活動を支援する。
 - ② 感覚・運動の統合機能を高めることを目的として自立活動を学校の教育活動全体を通して指導の中で一人一人に応じて適切に行い、体力づくりへの達成感75%まで高める。
- ウ自分で考えようとする子どもを育成するために
 - ① 児童一人一人の能力を最大限に伸ばす。そのために、児童や保護者の願いが反映された個別指導計画及び個別の教育支援計画を作成し活用する。それらの計画を基に、児童の発達段階や障害の実態に即した指導内容、指導方法、グループ編成（個別・小集団・全体）を工夫し、指導する。
 - ② 教員の専門的な指導力向上を図る。そのために、児童理解を深め、PDCAサイクルの授業改善を行うとともに、外部関係諸機関との連携を通して、個のニーズに応じた指導を充実させ、学習に対する保護者の満足度86%を目指す。
- エ その他の事項
 - ① 1人1台のモバイル端末を活用し、個々に応じた学習指導を充実させる。